



「ハイテク犯罪の現状とその防護策」

ゲストスピーカー：京都府警察本部生活経済課
ハイテク犯罪対策室室長
木村公也警部

日時 2010 年 11 月 10 日（水）19 時開会～21 時閉会（18 時 30 分受付開始）

場所 京都全日空ホテル 2 F 醍醐の間（二条城前）

会費 5,000 円（お食事代含む）

お申込み・お問い合わせは右記メールまで shoki15@tobe.x0.com

「ネットオークションで商品を落札し、指定口座に振り込んだが商品が送られてこない」

「覚えのないサイト利用料をメールで請求された」

「フィッシング詐欺にあった」

「インターネットの掲示板で、誹謗・中傷する書き込みがあった」

「送られてきたメールの添付ファイルを開いてからパソコンが異常な動作をする」

「接続 ID・パスワード勝手に利用された」

等々、コンピュータにまつわる、サイバー犯罪にあったり、話を聞いたことはありませんか？

このような犯罪を摘発し検挙することにかけては全国でも屈指の成果をあげているのが、京都府警ハイテク犯罪対策室だということを知っていますか。

対策室は 2001 年に設置され、これまでにファイル共有ソフトの「Winny」や「Share」を悪用した著作権法違反事件。コンピュータウイルス作成者の逮捕など、全国に先駆けて新手のネット犯罪を摘発してきました。また昨年末には府警の捜査手法を警視庁や 9 道府県警と共有し、「Share」で映画や音楽などを違法配信した容疑で 11 人を一斉逮捕した、という実績が評価され、20 年近くネット捜査に関わり、府警のハイテク操作の基礎を築いた木村公也警部が全国 2 人目となるネット捜査専門の警察庁指定広域技能指導官となり、今年から京都府警では各道府県から「捜査留学」としての受け入れを始めています。

このように、素晴らしい実績を誇る京都府警、その中でも先頭に立って実績を築いてこられたのが今回お招きする木村公也警部です。

普段なかなか聞くことのできない話も飛び出すかもしれません。大いに期待して多くの知人友人と木村警部の話を聞く時を共有しましょう！